



「変わった咳」もしかしたらそうかも。

百日菌について



- 百日菌 (Bordetella pertussis) は小型のグラム陰性桿菌
- 症状は、咳嗽・吸気時に「ヒューツ」と音がする特有の咳をする。症状は夜間に多い。
- 「pertussis」というのは、「激しい咳」という意味
- 臨床検査では、白血球増多、リンパ球増加、赤沈・CRP正常、発熱もないのが特徴
- 細菌培養は、特別な培地（ボルデー・ジャング培地）が必要であり、培養に時間を要する。また排菌量が少ない場合は「偽陰性」となる
- 5類感染症・全数把握に分類され、診断時に届け出義務がある
- 血清学検査、培養検査、遺伝検査いずれの方法で検査しても「陽性」*とできれば届け出可能

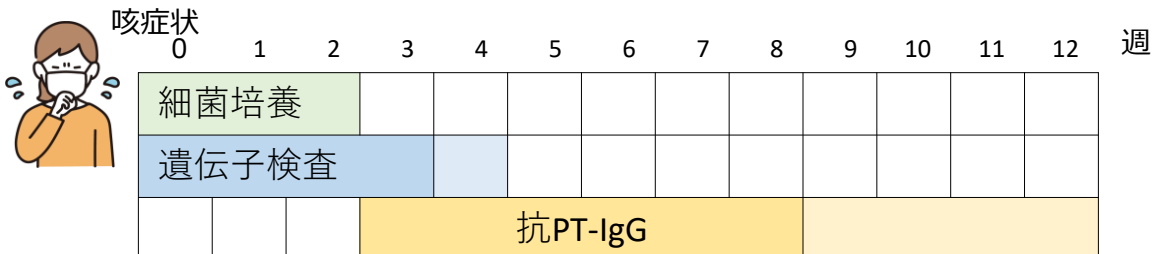
○百日咳菌の検査と特徴

分類	項目コード	検査名	保険点数	感度	特異度	備考
菌培養法	細菌	百日咳菌の分離	180	×	○	事後診断（培養7日）
遺伝子検査	2550	百日咳LAMP法	360	○	○	早期診断の有用
血清診断法	1829	百日菌菌抗体 (PT-IgG)	257	○	△	ワクチンの接種の影響を受ける
	2580	百日咳菌IgA抗体	80	×	○	感度25-44%
	2581	百日咳菌IgM抗体	80	×	○	感度29-56%

* 血清診断法百日咳菌の届け出基準

百日菌菌抗体 (PT-IgG)	①単血清：100EU/mL以上 ②ペア血清：ア) 10未満→10≤EU/mL イ) 10~<100EU/mL →2倍以上
百日咳菌IgA抗体	11.5NTU以上（両方もしくは片方陽性の場合）
百日咳菌IgM抗体	

○適切な検査のタイミング



百日咳臨床診断での 確定フローチャート

*一般社団法人 日本呼吸器学会 咳嗽
喀痰の診療ガイドライン2019より

